

令和4年度第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会

日時 令和5年2月17日(金)

14:00～15:30

場所 南茅部総合センター 講堂

次 第

1 開 会

2 挨 拶

函館市教育委員会生涯学習部次長

3 出席者紹介

4 議 事

(1) 報告事項

- ① 令和4年度縄文関係事業実施内容 (資料 1)
- ② 令和5年度縄文関係事業計画内容 (予定) (資料 2)
- ③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価 (令和4年度下半期) (資料 3)
- ④ その他

5 閉 会

令和4年度 第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会
出席者名簿

(敬称略)

●函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

会 長	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長
副会長	黒川 宣之	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長
委 員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長
委 員	田名部 忠勝	函館市南かやべ縄文文化創生の会 事務局長
委 員	大宮 トシ子	北の縄文CLUB 会長
委 員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長
委 員	酒井 康次	函館商工会議所 専務理事 【欠席】
委 員	深澤 昌明	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長
委 員	山口 哲也	函館市中学校長会 函館市立尾札部中学校 校長
委 員	伊勢 一哉	北海道南茅部高等学校 校長
委 員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長 【欠席】

教育委員会	清藤 一実	生涯学習部次長
	長谷山 裕一	生涯学習部文化財課長
	田中 光也	生涯学習部文化財課主査
	大矢 京右	生涯学習部文化財課主任
	小塚 陽介	生涯学習部文化財課主事
南茅部支所	池田 敏春	南茅部支所長
	村田 剛	南茅部支所地域振興課長
	外山 覚	南茅部支所産業建設課長
観光部	吉岡 幹人	観光部観光企画課庶務係長
	寺村 日出人	観光部国際観光課主査

〔資料1〕 令和4年度 縄文関係事業実施内容

1 縄文遺跡群の保存活用関係

1 縄文遺跡群への来場者の状況

縄文関連施設来場者数

(単位：人)

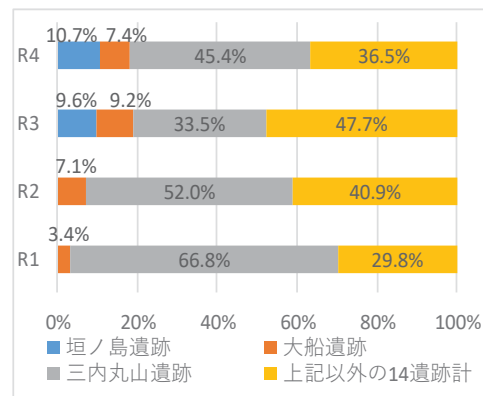
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
縄文文化交流センター	20,402	18,307	29,838	35,297
垣ノ島遺跡	—	—	26,871	41,760
大船遺跡	9,725	10,324	25,682	28,244
備考			R3.7 世界遺産登録 垣ノ島遺跡供用	※R4.4~R5.1

世界遺産となった令和3年度は、すべての施設において来場者が増加したが、今年度も令和5年1月までの集計ではあるが、前年度の来場者数を上回っており、順調な伸びを示している。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」17構成資産来訪者数の推移

	R1	R2	R3	R4
垣ノ島遺跡	—	—	26,871	25,854
大船遺跡	9,725	10,324	25,682	18,047
三内丸山遺跡	192,336	75,584	93,327	110,026
上記以外の14遺跡計	85,778	59,508	132,932	88,376
合計	287,839	145,416	278,812	242,303

※R4：4~8月までの来訪者数



他の構成資産との比較では、世界遺産登録前の令和元年度は、大船遺跡が全体の3.4%だったが、令和4年度は、8月までの集計で垣ノ島遺跡も合わせて全体の18.1%を占めており、両遺跡の構成比率も大幅に伸びている。

2 受入体制整備

(1) 臨時駐車場の確保、臨時駐車場案内看板の設置

第1臨時駐車場（東海団地）、第2臨時駐車場（南茅部スポーツセンター）

(2) 交通誘導員の配置

(3) シャトルバスの運行

臨時駐車場～縄文文化交流センターを巡回する輸送バスの運行

(4) 道路案内標識（国道・道道・市道）への設置



シャトルバスの運行

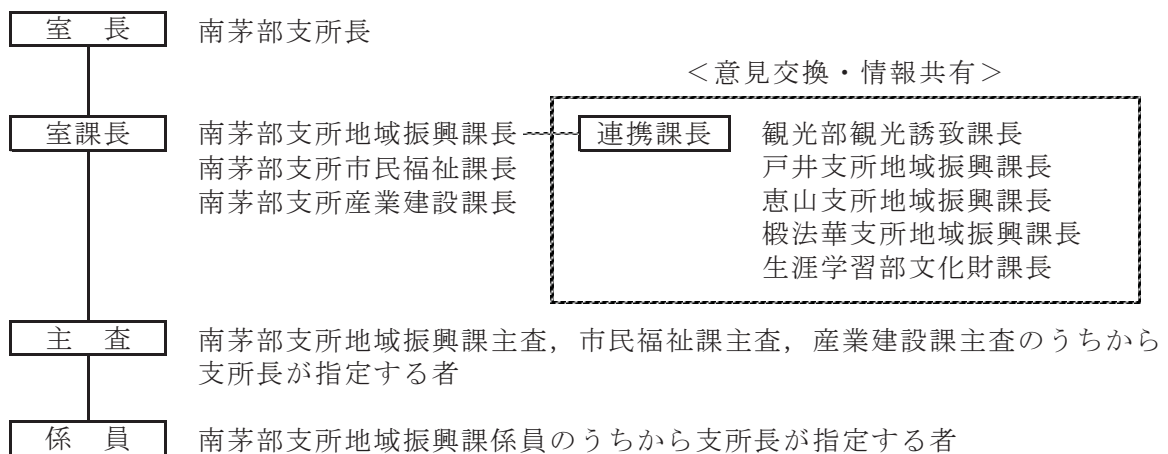


川汲町に設置された道路案内標識

3 その他

(1) 函館市南茅部地域・世界遺産活用推進室の設置 (5/9)

世界遺産を生かした地域づくりを地域が一体となり着実に推進していくため、南茅部支所に「函館市南茅部地域・世界遺産活用推進室」を設置。



(2) 大船遺跡周辺でのクマ出没情報による安全対策 (7/21)

(3) 縄文文化交流センター入館者数累計30万人達成 (10/6)



大船遺跡縄文の森への電気柵の設置



縄文文化交流センター30万人目に記念品贈呈

1 世界遺産登録記念1周年事業

主催：北海道渡島総合振興局，函館市教育委員会，道南縄文文化推進協議会，
北海道新聞社函館支社

(1) JOMON WEEK in 2022 SUMMER (7/27～7/31)

- ・史跡垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ一部公開開始 (7/27～)
- ・「縄文絵画コンクール」レジェンド作品 T-shirt COLLECTION (7/27～7/31)
- ・北の縄文スタンプラリー in おしま (7/27～9/30)
- ・世界遺産登録1周年記念ロゴマークの作成・活用
- ・世界遺産登録1周年記念シールの作成・配布 ほか



垣ノ島遺跡デジタルコンテンツのARによる視覚効果



Tシャツコレクション



世界遺産登録1周年記念シール

(2) JOMON WEEK in 2022 AUTUMN (10/1～10/10)

- ・DOKI! DOKI! JOMON EXPO in テーオーデパート (10/1～10/10)
- ・はこだて縄文まつり in 垣ノ島 (10/2)
- ・どぐうの日 ～Do good day!～ (10/9)
 - ・ステージイベント「世界遺産を食べよう！」
 - ・体験講座「中空土偶とふれあってみよう！」
 - ・ノベルティグッズ（どぐう館長風船）の作成・配布
- ・映画「掘る女 縄文人の落とし物」上映会&アフタートークショー (10/10)
- ・第5回北海道新聞縄文絵画コンクール作品展示 (10/1～10/10) ほか



はこだて縄文まつり in 垣ノ島（火起こし体験）



はこだて縄文まつり in 垣ノ島（縄文マルシェ）



どぐうの日ステージイベント「世界遺産を食べよう！」



体験講座「中空土偶とふれあってみよう！」

2 周知・広報、普及・啓発

- (1) 市電「らっくる号」へのバナー広告掲出（7/25～9/24）
- (2) 縄文文化交流センター企画展「カックウとまっくう」（9/27～10/30）
- (3) 第5回北海道新聞縄文絵画コンクール（8/25～9/5）
- (4) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」縄文フォトコンテスト2022（～1/13）



市電らっくる号バナー広告



縄文絵画コンクール作品審査の様子

3 北海道および北海道教育委員会事業等への実施協力

(1) 北海道主催事業

- ・世界遺産登録1周年記念シンポジウム（7/31・オンライン開催）
- ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産ガイド養成および情報交換会（12/11）

(2) 北海道教育委員会主催事業

- ・世界遺産子どもサミット（11/26・オンライン開催）

南茅部地域の縄文学習事例を臼尻中学校が発表

【参加校および団体】

函館市立臼尻中学校，千歳市立千歳第二中学校，洞爺湖町小学6年生
青森市立三内中学校，北秋田市伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド
一戸町御所野愛護少年団



世界遺産子どもサミットでの学習事例発表



臼尻中学校生徒による発掘体験（大船G遺跡）

- ・渡島フロンティア人材育成事業

小・中学校および高等学校が連携し，地域と協力して「縄文文化」の継承・活用について探求的な課題を設定した学習活動に取り組む。

【協力校】 南茅部高等学校，臼尻中学校，尾札部中学校，南茅部小学校

【外部協力者】 一般財団法人道南歴史文化振興財団



小・中・高の校種混合によるグループ協議



三内丸山遺跡の見学

10/20	実践交流会	協力校児童生徒による情報交流，グループ協議
10/21・22	視察研修	青森市の構成資産や地域の取り組みを視察
2/ 6	成果発表会	各協力校が縄文学習や活動の成果を発表し， 実践発表や縄文学習に関する取組等を情報提供

・北海道世界文化遺産総合活用推進事業（主催：同実行委員会，事務局：道教委）

10/22	ユネスコ世界文化遺産現地研修会
10/25	縄文遺跡群ボランティアガイド養成講座
11/ 2	世界文化遺産インタープリテーション調査研究（訪問調査）
12/26	世界文化遺産に親しむオンライン教材検討会議

4 市民等による参加啓発事業の実施

- ・縄文活動団体による大船遺跡周辺清掃（4/23 北の縄文CLUB）
- ・寄附により縄文文化交流センター駐車場入口に垣ノ島遺跡案内標識設置
（6/24 国際ロータリー第2510地区10・11グループ）
- ・企業の地域貢献活動により垣ノ島遺跡園路階段に手摺設置（7/1 株式会社森川組）
- ・トヨタ ソーシャルフェス 2022「クリーン北海道プロジェクト」
垣ノ島遺跡周辺清掃活動（9/3 一般財団法人道南歴史文化振興財団）
- ・寄附により垣ノ島遺跡にクリの木植樹（10/22 南かやべ森と海の会）



垣ノ島遺跡案内標識の設置



垣ノ島遺跡園路階段に手摺設置



トヨタ ソーシャルフェスによる垣ノ島遺跡周辺清掃活動



垣ノ島遺跡にヤマグリ植樹

3 垣ノ島遺跡デジタルコンテンツの整備

垣ノ島遺跡の価値や魅力を正しくわかりやすく伝え、より楽しくかつ効果的に縄文遺跡を感じることができる環境を創出するため、AR(拡張現実)やCG(コンピューターグラフィックス)等の最新のデジタル技術を用いたコンテンツ等を整備。

(1) スケジュール

令和4年 4月 委託契約締結(受託者:NTT東日本・凸版印刷グループ)
7月 一部公開開始(7/28)
令和5年 3月 全部公開(予定)

(2) 整備内容

[公開中コンテンツ]

- ・イントロダクション動画…展望デッキにて遺跡を紹介する動画の放映
- ・竪穴建物AR…現地の窪みの上において、当時存在した竪穴建物を見える化
- ・海への眺望VR…360度パノラマ画像で時間経過とともに豊かな自然を実感

[整備中コンテンツ]

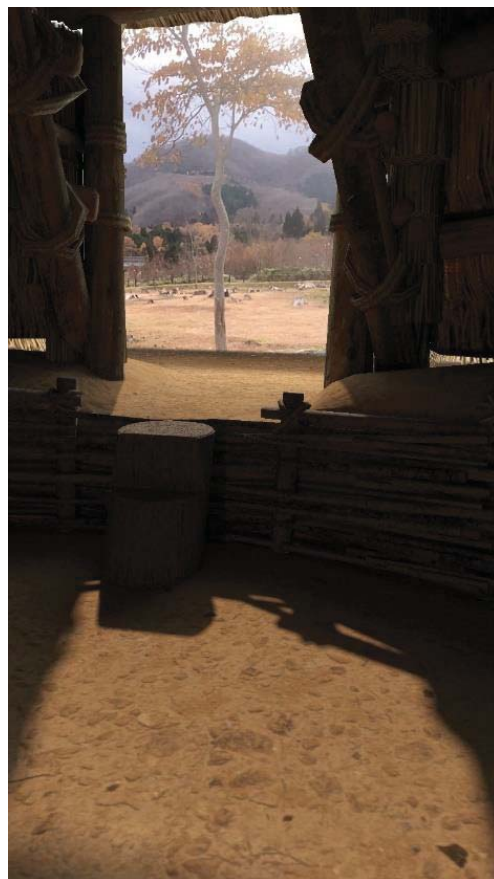
- ・AR(ムラの暮らし,狩猟,盛り土遺構の土中の様子)
- ・VR(群立する竪穴建物群,盛り土遺構の季節の移ろい)
- ・コンテンツおよび現地解説板の多言語解説(字幕テキストおよび音声ガイド)
→英語,中国語繁体字,中国語簡体字,韓国語 ※日本語は公開中
- ・デジタル副読本(市内小中学生に割り当てられた端末で使用するコンテンツ)



竪穴建物ARの体験の様子



発掘調査ARの様子



竪穴建物AR(内部)の様子

4 大船遺跡史跡外駐車場の整備

現在建設中の国道278号尾札部道路(バイパス)の大船遺跡までの暫定供用にあわせ、国道に隣接する史跡外に駐車場を整備し、遺跡の適切な保存と来訪者の安全性の向上等を図る。

(1) 整備内容

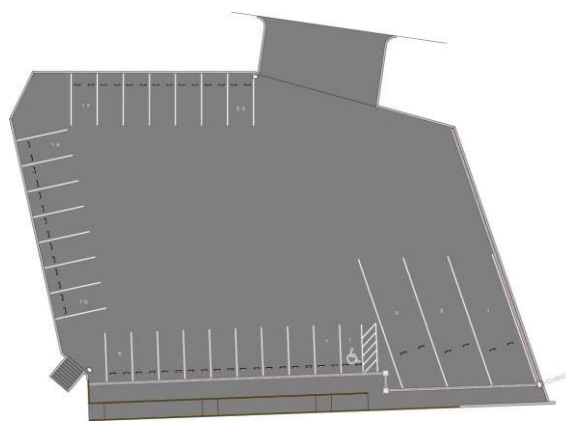
- ・整備用地面積 1,956㎡ (うち国土交通省用地391㎡)
- ・アスファルト敷設, 普通車24台分および大型車3台分
- ・駐車場案内看板(駐車場入口付近), 遺跡への誘導看板(市道側階段付近等), 場内照明を設置

(2) その他

- ・バイパス道路の大船遺跡までの暫定供用(3/25 予定)と同時に供用開始を予定
- ・遺跡へのアプローチを国道278号からバイパス道路に変更
- ・函館開発建設部がバイパス沿いに遺跡案内看板を設置予定



大船遺跡史跡外駐車場位置図



駐車場平面図



工事進捗状況(2022/12/9)



工事進捗状況(2022/12/28)

5 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」

市立小学校3年生児童が、垣ノ島遺跡および大船遺跡、縄文文化交流センターを見学
【実施状況】 対象校39校中、39校 1,515人見学済み



6 「北海道・北東北の縄文遺跡群」活用推進関係

※函館市観光部

1 広域周遊ドライブルートの構築（WEBコンテンツ）「ぐるっと縄文 in 北海道」

道内の縄文遺跡群を軸に、新千歳～函館間の噴火湾沿いを中心とした広域周遊ルートの構築およびWEBコンテンツ「ぐるっと縄文 in 北海道」の制作。

車、鉄道、バス、タクシー等を利用したモデルコースを「はこぶら」で公開。



2 旅行雑誌等を活用したプロモーション

「北海道生活 夏号」
 編集タイアップ企画（4P）
 令和4年6月発売



3 世界文化遺産等関連施設アクセスバス「縄文遺跡群アクセスバス」実証運行

(1) 運行期間

令和4年7月22日～8月27日の金曜日・土曜日（計12日間運行）

① 函館市街地／縄文文化交流センター シャトルバス

函館駅前・五稜郭・湯の川温泉・函館空港 ⇄ 縄文文化交流センター

1日4往復 所要時間：約1時間

料金：大人500円，小児250円

② 循環バス

縄文文化交流センター，大船遺跡，南茅部地域食事エリアを巡回

1日8巡回 所要時間：20～30分

料金：大人200円，小児100円

(2) 運行実績

	シャトルバス		循環バス
	(往路)	(復路)	
利用者数	207 人	208 人	288 人
(1日平均)	17.3 人	17.3 人	24.0 人
(1便平均)	4.3 人	4.3 人	3.0 人



4 その他

- ・教育旅行プロモーション，商談会等で学習体験メニューとして紹介
- ・二次元アイドルグループ「HAKOMEN（ハコメン）」でのPR
- ・公式観光情報サイト「はこぶら」や各種媒体（観光関連冊子等）での情報発信
- ・縄文文化人材バンクの運営，通訳ガイドの確保・育成 ほか



垣ノ島遺跡および大船遺跡周辺での「坂」の移動バリアという地形的課題に対し、低速電動カート「グリーンスローモビリティ」を用いた移動サービスの実証運行を実施。

(1) 運行期間

令和4年9月10日（土）～9月25日（日）（計14日間運行）

※ 縄文文化交流センター休館日（9/12・9/20）は運休

① 垣ノ島遺跡下バス停接続コース

縄文文化交流センター ⇄ 「垣ノ島遺跡下」バス停

1日5.5往復 合計77往復

料金：無料

② 大船&垣ノ島遺跡周遊コース

縄文文化交流センター ⇄ 大船遺跡

1日2往復 合計28往復

料金：無料

(2) 運行実績

	① 垣ノ島遺跡下バス停 接続コース	② 大船&垣ノ島遺跡 周遊コース
利用者数	96 人	81 人
(1日平均)	6.7 人	5.8 人
(1往復平均)	1.2 人	2.9 人



大船遺跡と垣ノ島遺跡を巡る乗り物がやってくる。

グリーンスローモビリティ

ハコダテグリスロとは？
縄文遺跡への移動を快適にする乗り物

運行期間
2022
09.10. - 09.25.

運賃 無料

乗客から降車までの流れ
1 出発地でグリスロに乗車する
2 遺跡と共にゆったり景色を楽しむ
3 停車してから車を立ち、降車する



〔資料2〕 令和5年度 縄文関係事業計画内容（予定）

1 縄文遺跡群保存活用関係【教育委員会】 45,340千円

1 史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡保存管理

〔供用時間〕 4月～10月 9:00～17:00 11月～3月 9:00～16:00

〔業務内容〕 案内・解説，発掘体験指導，集計，清掃，監視・保安，環境整備，垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ運用，タブレット貸出 ほか

（定時解説）垣ノ島遺跡：1日3回，大船遺跡：1日2回

（発掘体験）垣ノ島遺跡：1日2回

※ 定時解説，発掘体験ともに4～10月に実施

上記委託業務のほか，施設維持管理，リーフレット印刷等の実施

2 受入体制整備

(1) 臨時駐車場の確保

第1臨時駐車場（東海団地），第2臨時駐車場（南茅部スポーツセンター）

(2) 交通誘導員の配置

(3) 臨時駐車場案内看板の設置，道路案内標識および電柱広告による誘導

(4) シャトルバスの運行

臨時駐車場～縄文文化交流センターを巡回する輸送バスの運行

(5) 縄文文化交流センター解説パネル等多言語化

解説パネル等の英語・韓国語・中国語（簡・繁）翻訳および貼替

(6) その他（施設修繕，備品購入ほか）

3 その他

(1) 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の実施

(2) 縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会への参加

2 縄文遺跡群世界遺産普及啓発関係【教育委員会】 969千円

1 普及啓発事業

(1) （仮）JOMON WEEK 2023の実施

〔実施期間〕 令和5年10月1日～10月9日（予定）

〔事業内容〕 はこだて縄文まつり in 垣ノ島（主催：縄文まつり実行委員会）
どぐうの日イベント ほか

2 周知・広報

(1) 企画展・パネル展示の実施

(2) イベントチラシ，ポスター，ノベルティグッズの作成・配付

(3) 市民参加啓発事業の実施（植樹活動，清掃活動等）

(4) 関係自治体および関係団体との普及啓発イベント等の協働開催

1 史跡垣ノ島遺跡案内窓口施設建築工事

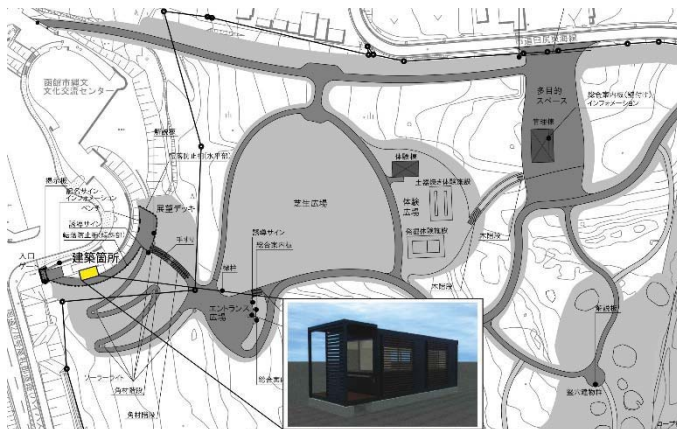
展望デッキ付近に遺跡見学やデジタルコンテンツの案内窓口となる施設を新たに整備

〔整備概要〕

- ・鉄骨造り平屋建て
(床面積 約 13 ㎡)
- ・遺跡案内窓口，解説受付
- ・デジタルコンテンツ用
タブレット貸出および管理
- ・物品庫 ほか

〔スケジュール〕

令和5年4月 契約締結，工事着手
7月 完成，運用開始（予定）



4 史跡大船遺跡整備事業【教育委員会】

1 史跡大船遺跡園路等整備工事

大船遺跡史跡外駐車場（令和5年3月供用開始予定）から遺跡内へアクセスする園路整備と，縄文の森に電気柵および安全柵を設置し獣害対策を図る

〔整備概要〕

- ・園路整備（ウッドチップ舗装，手摺・木製階段設置）幅 1.8m×整備延長 約 150m
- ・案内・解説看板設置
- ・電気柵および安全柵設置 総延長 約 300m

〔スケジュール〕

令和5年3月末 史跡外駐車場供用開始
4月～ 園路整備工事着手，電気柵および安全柵設置
7月 完成，供用開始（予定）



5 縄文文化交流センター管理運営（指定管理委託）【教育委員会】 48,457千円

〔指定管理者〕 一般財団法人道南歴史文化振興財団
〔指定管理期間〕 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで（3年間）
〔債務負担行為限度額〕 147,455千円
令和4年度50,541千円，令和5年度48,457千円，令和6年度48,457千円

6 縄文遺跡群世界遺産本部負担金【教育委員会】 1,178千円

- (1) 縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会の運営
〔構成団体〕 4道県および14市町 計18自治体
- (2) 来訪・周遊促進事業
ガイドンス映像の制作，魅力発見・発信事業，国内フォーラムの開催 ほか
- (3) 総合情報発信事業
PRパンフレット，ポスター，のぼり等の作成

7 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」【教育委員会】 3,447千円

市立小学校の児童が，史跡垣ノ島や史跡垣ノ島，縄文文化交流センターを見学し，身近にある世界遺産や国宝「中空土偶」について学ぶ「縄文文化に触れる学習」を実施
〔対象〕 市立小学校第3学年の児童および引率教員 約1,500人
〔事業費〕 バス借上料 3,447千円

8 観光客受入環境整備経費【観光部】 212千円

1 縄文文化通訳ガイド人材バンク運営事業

北海道渡島総合振興局と共同で取り組む中国語ガイドの養成にあたり，ガイド先進地である青森県・三内丸山遺跡の現地ガイド視察および縄文文化研修会を開催

※ その他，公式観光情報サイト「はこぶら」や教育旅行誘致プロモーションなどにおいて，積極的に縄文遺跡群のPRを行う。

〔資料3〕 世界遺産の保全に係る遺産影響評価（令和4年度下半期）

1 遺産影響評価

1 遺産影響評価の趣旨

構成資産内及び緩衝地帯を含む周辺地域において計画されている事業等（以下「開発行為等」）が、世界遺産の価値に与える影響の可能性を事前に評価することにより、資産保全と事業実施の合意形成を目指すもの。

※世界遺産条約に基づき、ユネスコは遺産影響評価の実施を締約国に求めています。

2 遺産影響評価の方法

構成資産を所管する自治体が開発行為等の事業内容を把握し、世界遺産の価値に負の影響が想定される場合には詳細分析を実施する。また必要に応じて、開発事業者と開発の中止・変更等の保全に向けた調整・要請等を行う。

3 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の役割

函館市教育委員会が把握した開発行為等について事前・事後の報告による情報共有を行い、世界遺産の価値の保全に向けての留意点を確認する。

2 遺産影響評価の実施状況

1 令和4年度 上半期

垣ノ島遺跡の緩衝地帯で1件、大船遺跡の緩衝地帯で2件の開発行為等を把握し、それぞれ遺産影響評価を実施した。

- ① 楽天モバイル基地局設置工事（大船遺跡緩衝地帯）
- ② 南かやべ森と海の会令和4年度秋季植樹事業（垣ノ島遺跡緩衝地帯）
- ③ 大船遺跡史跡外駐車場整備工事（大船遺跡緩衝地帯）

2 令和4年度 下半期

大船遺跡の緩衝地帯で1件の遺産影響評価を実施した。（別添「遺産影響評価実施概要」のとおり）

- ④ 大船遺跡園路補修・整備および電気柵等設置工事

遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	大船遺跡
事業（工事）名称	大船遺跡園路補修・整備および電気柵等設置工事
事業地	函館市大船町549ほか（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 着工：令和5年4月1日 完了：令和6年3月31日（予定）
事業内容	遺跡内の園路をウッドチップ舗装で補修するとともに新規動線に分岐させ、木製階段と案内看板を設置する。また近年遺跡周辺で頻発する獣害対策のために、電気柵と安全柵を設置する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見えない
世界遺産の価値への影響	影響なし
詳細分析の要否	不要
評価理由	園路・階段・案内看板・電気柵・安全柵のいずれも視点場から視認することはできない。また掘削範囲も表土および保護盛土内を想定しており、地下遺構への影響は軽微である。
その他	掘削の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年1月10日

